



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4064 URL <https://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 孝久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 横田 祐一 TEL 03-5462-8224
経営企画部長
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	23,370	9.5	1,263	162.7	1,381	34.5	847	7.7
2024年3月期中間期	21,333	△8.5	480	△55.0	1,027	△41.0	787	△42.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,680百万円 (22.9%) 2024年3月期中間期 2,181百万円 (△41.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	91.09	—
2024年3月期中間期	83.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	62,548	36,805	55.4
2024年3月期	61,020	34,623	53.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 34,661百万円 2024年3月期 32,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2025年3月期	—	40.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 特別配当 15円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	15.7	2,300	170.8	2,600	65.3	1,400	40.0	150.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 注記事項 (中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	9,419,659株	2024年3月期	9,419,659株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	105,532株	2024年3月期	114,821株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	9,308,798株	2024年3月期中間期	9,405,147株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料については、2024年11月8日に当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 注記事項	11
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額の著しい変動)	11
(継続企業の前提に関する事項)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、全体的に緩やかな成長となりましたが、欧州や中東における地政学リスクの高まりや原燃料価格の高止まり等もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの事業では、電子・機能製品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加しました。フィルム・シート製品は、欧米や中国での自動車販売台数の増加により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加したことに加え、為替が損益へプラスに影響しました。建材関連は、原材料価格の上昇や在庫削減等により収益性が悪化しました。エンジニアリングは、製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は前年同期比2,037百万円(9.5%)増の23,370百万円、営業利益は前年同期比782百万円(162.7%)増の1,263百万円、経常利益は前年同期比354百万円(34.5%)増の1,381百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比60百万円(7.7%)増の847百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、お客様都合による在庫調整により農薬向け製品の出荷が減少したものの、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。機能樹脂は、原材料価格の上昇に応じた製品価格の改定により損益へプラスに影響しましたが、光学関連分野向け粘・接着剤の国内向け出荷が減少し、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比298百万円(3.6%)増の8,621百万円、セグメント利益は前年同期比3百万円(1.0%)増の388百万円となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、国内向け屋外看板用製品の出荷が増加したものの、原材料価格上昇分の製品価格への転嫁が遅れたことにより損益へマイナスに影響し、前年同期比増収減益となりました。ステッカーは、タイでの二輪車向け3Dエンブレム等の高付加価値製品の出荷が増加すると共に、インドネシアでの二輪車生産台数の増加により二輪車向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。再帰反射シートは、欧米や中国での自動車販売台数の増加によりナンバープレート向け製品の出荷が増加したことに加え、為替が損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比1,361百万円(15.8%)増の9,963百万円、セグメント利益は前年同期比625百万円(183.5%)増の966百万円となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住設用樹脂押出成形品や戸建住宅用アルミ手すり、マンション向け高強度・高機能アルミ手すりなどのアルミ建材であります。

省エネ補助金制度による住宅リフォーム需要増により住宅向け樹脂押出成形品の出荷が増加したものの、アルミ地金価格高騰による原材料価格の上昇に加え、在庫削減による損益へのマイナス影響により、当セグメントの売上高は前年同期比1百万円(0.1%)増の3,501百万円、セグメント利益は前年同期比135百万円(92.0%)減の11百万円となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などです。

製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加したことに加え、調達効率化等のコストダウンが損益へプラスに影響し、当セグメントの売上高は前年同期比347百万円(32.3%)増の1,422百万円、セグメント利益は91百万円(前年同期は127百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末における総資産は、前期末比1,528百万円増加し、62,548百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比1,515百万円増加し、37,236百万円となりました。固定資産は、前期末比13百万円増加し、25,312百万円となりました。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債は、前期末比653百万円減少し、25,742百万円となりました。

このうち、流動負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比626百万円増加し、15,307百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比1,279百万円減少し、10,435百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の有利子負債残高は、前期末比1,463百万円減少し、10,028百万円となりました。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末の純資産は、前期末比2,181百万円増加し、36,805百万円となりました。

このうち、株主資本は、前期末比401百万円増加し、24,397百万円となりました。その他の包括利益累計額は、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比1,629百万円増加し、10,264百万円となりました。

なお、自己資本比率は前期末比プラス1.9ポイントの55.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,722百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは99百万円の収入となり、フリー・キャッシュ・フロー(営業活動と投資活動による各キャッシュ・フローの合計)は、1,822百万円の収入となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは2,042百万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は前連結会計年度末比706百万円増加して、12,764百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益の増加などにより、前年同期比246百万円収入が増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期と比べ有形固定資産の取得や定期預金の預入による支出が減少したことなどにより、99百万円の収入(前年同期は2,108百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増減額が減少に転じたことなどにより、2,042百万円の支出(前年同期は415百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2024年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2025年3月期 通期連結業績予想数値(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年5月13日発表)	50,000	2,100	2,200	1,000	106円44銭
今回修正予想(B)	50,000	2,300	2,600	1,400	150円40銭
増減額(B-A)	0	200	400	400	—
増減率(%)	0.0	9.5	18.2	40.0	—
前期実績 (2024年3月期)	43,231	849	1,573	999	106円42銭

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,442	13,632
受取手形、売掛金及び契約資産	12,526	13,145
商品及び製品	4,699	5,236
仕掛品	2,030	2,144
原材料及び貯蔵品	2,638	2,672
その他	566	612
貸倒引当金	△183	△208
流動資産合計	35,721	37,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,698	7,624
機械装置及び運搬具(純額)	3,458	3,602
土地	10,610	10,641
その他(純額)	1,606	1,513
有形固定資産合計	23,374	23,381
無形固定資産	629	617
投資その他の資産		
その他	1,336	1,353
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	1,295	1,312
固定資産合計	25,299	25,312
資産合計	61,020	62,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,537	6,184
短期借入金	6,214	6,111
未払法人税等	175	240
賞与引当金	622	637
役員賞与引当金	32	10
その他	2,098	2,122
流動負債合計	14,681	15,307
固定負債		
長期借入金	4,943	3,591
退職給付に係る負債	3,720	3,741
役員退職慰労引当金	22	19
再評価に係る繰延税金負債	2,411	2,411
その他	616	673
固定負債合計	11,714	10,435
負債合計	26,396	25,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,797	7,797
資本剰余金	3,112	3,113
利益剰余金	13,298	13,681
自己株式	△212	△195
株主資本合計	23,996	24,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	42
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	5,342	5,342
為替換算調整勘定	3,333	4,905
退職給付に係る調整累計額	△90	△24
その他の包括利益累計額合計	8,634	10,264
非支配株主持分	1,992	2,143
純資産合計	34,623	36,805
負債純資産合計	61,020	62,548

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,333	23,370
売上原価	15,093	16,246
売上総利益	6,239	7,124
販売費及び一般管理費	5,758	5,860
営業利益	480	1,263
営業外収益		
受取利息	107	108
受取配当金	14	11
為替差益	426	19
その他	125	86
営業外収益合計	673	226
営業外費用		
支払利息	36	42
売電費用	32	25
その他	58	40
営業外費用合計	127	108
経常利益	1,027	1,381
特別利益		
投資有価証券売却益	206	—
特別利益合計	206	—
税金等調整前中間純利益	1,233	1,381
法人税、住民税及び事業税	254	353
法人税等調整額	94	23
法人税等合計	349	376
中間純利益	884	1,005
非支配株主に帰属する中間純利益	97	157
親会社株主に帰属する中間純利益	787	847

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	884	1,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	△11
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	1,402	1,620
退職給付に係る調整額	16	67
その他の包括利益合計	1,296	1,675
中間包括利益	2,181	2,680
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,006	2,477
非支配株主に係る中間包括利益	174	202

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,233	1,381
減価償却費	969	940
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	51	46
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	12
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	5
受取利息及び受取配当金	△121	△120
支払利息	36	42
投資有価証券売却損益(△は益)	△206	—
売上債権の増減額(△は増加)	△105	△237
棚卸資産の増減額(△は増加)	218	△226
仕入債務の増減額(△は減少)	△214	427
その他	△56	△267
小計	1,810	1,979
利息及び配当金の受取額	124	91
利息の支払額	△36	△43
法人税等の支払額	△422	△304
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,476	1,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△910	△345
定期預金の払戻による収入	750	934
有形固定資産の取得による支出	△2,410	△482
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	469	11
その他	△7	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,108	99
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600	△50
長期借入金の返済による支出	△1,775	△1,405
配当金の支払額	△328	△465
その他	△79	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	415	△2,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	627	927
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	411	706
現金及び現金同等物の期首残高	9,821	12,057
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,232	12,764

(4) 注記事項

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,296	8,601	3,492	942	21,333	—	21,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	—	7	132	166	△166	—
計	8,323	8,601	3,499	1,075	21,500	△166	21,333
セグメント利益又は 損失(△)	384	341	147	△127	746	△265	480

(注) 1 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,597	9,963	3,500	1,309	23,370	—	23,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	—	1	113	138	△138	—
計	8,621	9,963	3,501	1,422	23,509	△138	23,370
セグメント利益	388	966	11	91	1,458	△194	1,263

(注) 1 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

(株主資本の金額の著しい変動)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。